

## ～守りたい子どもの育ち～

光陰矢の如し…時の経つのは早いものです。私が、社会福祉法人桃郷理事長としての役目を頂いてから30年という時が流れました。それもそのはず、私は今年2月で喜寿を迎えました。振り返ってみますと、今から約40年前の頃から、妻の仕事である保健師業務に引き込まれ、障害を持つ子どもと保護者の方々に接する機会が多くなり、「何とかしなければ」と、微力ながらの支援を始めました。そして、保護者の方々はもちろんのこと、周りの方々から、専門療育の場としての「通園施設が欲しい」という熱い願いを受け、1993年に法人格を得て、翌年、通園施設として「ひまわり園」の設立に至りました。

当時は、運動のお手伝いだけをし、障害児保育や施設の運営等々、福祉に関するノウハウは皆無でした。今までの30年間、私がこうして理事長として役目を果たせてこられましたことは、本日まで参加いただいている皆様方の暖かいご支援をいただければこそその成果であります。そしてまた、職員の皆様方の日々の保育への研鑽と努力の賜物でもあります。

1法人1施設25名の園児から始まった運営、「子どもたちの豊かな発達を保護者と一緒に」の願いの下での運営、今では13か所の施設を持つことになりました。こんなに大きな運営規模になるとは、全くの想定外でしたが、今では、橋本市から岩出市までの間に、寄り道するところが沢山でき、そして、そこで子どもたちの笑顔に会い、職員の活気に力をいただき、行政と地域の皆様方に支えていただいている、このことが、私の元気の源となっています。

私はこの30年間、この事業を経験して子どもたちから命の尊さをむき出しに見せつけられました。愛し合うこと（無償の愛）は豊かな育ちを持ち合うこと、これからも大切にしたいものです。

社会福祉法人桃郷は平和な中で誕生しました。もちろん、私も戦後っ子です。

間もなく次世代へのバトンタッチの時期ですが、この平和な世がいつまでも続いてほしいものです。そして子どもたちの育ちの場が崩れていかないように守りたいものです。30年間の社会福祉法人桃郷の歴史の継続を願ってやまないものです。これからは私は、子どもたちの豊かな発達を願って、そして育ちゆく子どもたちを終生の友としてわが人生を送っていく所存です。

今後とも、皆様方のご支援とご指導宜しく申し上げます。

2023年6月18日

社会福祉法人桃郷

理事長 船木 孝明